



志布志市立 香月小学校

児童数 277人
学級数 13クラス



《テーマ》

インクルーシブな社会における人権教育や人権意識高揚の在り方について考える。

研究に当たって（テーマ設定の理由）

LGBTQなど、インクルーシブな世の中を目指すこれからの社会の中、教職員はもとより、児童、保護者も人権について学ぶ・考える機会が大切であると考え。本プロジェクトを通して、学校や地域の人権意識や人権感覚を向上させていきたい。

研究スケジュール

5月12日（木）
N T T ドコモケータイ安全教室
6月10日（金）
大隅地区人権教育授業実践研修会会場校
9月9日（金） 家庭教育学級
10月24日（月） 職員研修
12月7日（水） 人権教室

特色ある取組（他校にもおすすめの取組）

- N T T ドコモケータイ安全教室
誤解を生まない言葉のやりとりについて考える活動など、情報モラルに関する学習ができた。
- 保護者向けの講話
個々の捉え方の違いを知る活動など自尊感情を育む家庭教育の在り方を学ぶことができた。
- 職員研修
 - 授業を通した人権意識を育む指導の在り方についての研修を行った。
 - 「M o mで進める仲間づくり」など、人権尊重の視点に立った指導について研修した。
- 人権教室
仲間づくりに関する活動を通して、人権感覚や自尊感情を育むことができた。



【授業を通した研修】



【人権教室】

子どもの人権プロジェクト推進校の取組の成果と課題（子どもの変容、よかったこと、今後やってみたいこと）

- 学習活動を通して、児童が自分の気持ちを表したり、相手の気持ちを考えたりすることの大切さに気付くことができた。
- 研修を通してM o mの視点に立った学習活動の大切さに気付き、実践する機会となった。
- 今後、地域住民との交流で、人権の視点に立った活動を取り入れたい。